

地域調査法 CI

2 units 2nd-year(1st semester)

Takuya YABE · ASSOCIATE PROFESSOR / DEPARTMENT OF CIVIL AND ENVIRONMENTAL STUDIES

Target) この授業では地域社会とその変容を調査・分析するための多様な理論、視角、手法について議論することを目的とする。特に、地域社会学、都市社会学の視点からの実証的な研究に関する基礎的な文献を取り上げ、実際の調査に必要な知識と社会学的想像力を身につけることを目指す。

Outline) 地域社会学, 都市社会学的地域調査とデータ解析の技法

Keyword) *social survey, regional problem*

Fundamental Lecture) “社会統計基礎論”(1.0)

Relational Lecture) “地域調査法 CII”(1.0), “地域調査実習 CI”(0.5), “地域調査実習 CII”(0.5)

Notice) 「地域調査法 CI-II」では調査の理論と技法を、「地域調査実習 CI-II」では実践と応用を学ぶので、両者を併せて受講することが望ましい。授業では、講義形式による解説に平行してコンピュータを利用した実習をおこなう。前提として受講者は「社会統計基礎論」をあらかじめ履修しておくか、並行して履修することが求められる。なお、利用可能な端末の台数によって受講者を制限する場合がある。

Goal) 地域社会学, 都市社会学的な地域研究の方法を理解し, 社会調査・地域調査をおこなうのに必要な基礎知識を身につける。

Schedule)

1. どのような社会調査をしたいのか: 「社会調査の歴史」「社会調査の種類」「社会調査の方法」「社会調査の目的」について説明する
2. 社会調査をはじめる前に: 「図書館の活用法」「文献検索法」「統計書の活用」「知的生産技術」について説明する
3. 社会調査で何がわかるか: 「社会学における理論」「社会学における検証」「社会調査の限界」について説明する。
4. 人間の探求活動と科学: 「真実探求への道」「社会科学の基礎」「社会調査における多様なアプローチ」「社会調査の倫理」について説明する
5. 理論と社会調査: 「社会科学のパラダイム」「演繹法と帰納法」「演繹法による理論構築」「帰納法による理論構築」「理論と調査のつながり」について概説する
6. 社会調査における因果関係: 「決定論と社会科学」「個性記述的モデルと法則定立的モデルにおける因果関係」「因果関係の基準」「間違った因果関係の推測」「変数の測定方法と相関関係のつながり」について概説する。
7. 概念化, 操作化, および測定: 「概念化」「記述的および説明的研究における

定義」「操作化」「測定の質を評価するための基準」について説明する。

8. 指数, 尺度, および類型: 「指数と尺度」「指数の作成」「尺度の作成」「類型」について説明する。
9. 標本抽出の理論: 「標本抽出の歴史」「非確率抽出法」「確率抽出法の理論と論理」「確率論, 標本分布, および標本誤差の推定」「母集団と標本抽出枠」「標本設計の種類」「多段クラスター抽出法」「確率抽出法の復習」について説明する
10. 社会調査はどのようにすすめるか: 「社会調査の手順」「事前準備」「現地調査」に関して説明する
11. 調査票をどうつくるか: 「調査票づくりの基本姿勢」「調査票作成の仕事の流れ」「調査設計と調査票」「質問の仕方」「回答形式」「質問票の流れとレイアウト」について説明する
12. データの整理とチェック(分析の前に行うこと): 「データの整備と入力」「データクリーニング」「変数の同定」「合成尺度の構成」について説明する
13. データ分析(基礎の基礎): 「分析にあたっての注意」「データ分析の基本的な構え」「データの整理と種類」「データの関連」「第三変数の導入, そして理論へ」を説明する
14. 公表の方法と報告書作成の要領: 「作品としての公表」「報告書の構成の仕方」「報告書の原稿執筆」「様々な公表にむけて」について説明する
15. 実例報告: 私が関わったプロジェクトの論文を紹介しながら, 社会調査の流れ, 問題点, 今後の課題などを説明する。

Evaluation Criteria) 平常点, 期末レポート

Re-evaluation) 行わない

Textbook)

- ◇ E. バビー著, 社会調査法 1, 培風館, 2003, E. バビー著, 社会調査法 2, 培風館, 2005
- ◇ 森岡清志編著, ガイドブック社会調査, 日本評論社, 1998
- ◇ 大谷信介他編著『社会調査へのアプローチ・第2版』ミネルヴァ書房, 2005年

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=219179>

Contact)

⇒ YABE (1228, +81-88-656-9311, yabe@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 木曜日 12:00~ 12:45(時間帯は随時メールにてご相談下さい))

Note) 本年度開講